

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きりり」寝屋川校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティションや机の位置で配慮を行っている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		現時点では適切である。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		利用者さんに合わせてその都度環境調整を行っている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用者さんに合わせてその都度環境調整を行っている。	空気清浄機および室温湿度計の導入を検討する。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		ミーティングを行い、情報を共有している。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価表をもとに保護者の意向を確認し振り返り等で意見を聞くようにしている。	今回のアンケートをもとにすぐに改善方法を検討する。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所内で評価の周知を行うと共に、評価・改善内容を集約し、ホームページにて公開する。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現時点で行っていないが、今後必要に応じて検討する。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に内部で研修を行っている。	
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		定期的にアセスメントシートを利用し、モニタリング面談等で確認を行い、児童発達支援計画を作成している。	一人の職員がアセスメント等情報を持ってしまい共有できていない状況があったので、社内の内部監査により情報共有について改善指示が出て、システムを変更しつつある。

提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシート等を利用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		必要に応じて「家族支援」に取り組んでいる。	今後、本人の状況に合わせて必要に応じて「家族支援」に取り組んでいく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		児童発達支援計画に沿って、保護者と本人の状況を確認しながら、支援を行っている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		指導員間で連携を取り、支援プログラムの立案を行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		本人の状況に合わせ、活動プログラムが固定化しないように指導員間で情報共有を行い、プログラムの立案している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		コロナウイルスの状況を鑑み、個別活動を中心に、必要に応じて小集団の活動を取り入れて、児童発達計画を作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に、ミーティングの時間を設けている。	職員全員で把握できるように共有できるツールを検討していく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で支援についてフィードバックを行っている。	職員全員で把握できるように共有できるツールを検討していく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		支援記録に基づき、次回以降の支援プログラムの立案を行っている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月ごとにモニタリング面談を行い、支援計画を見直している。	親後さんが来所されない利用者のモニタリングが定期的に行えていない場合があ

					るので、電話や郵送で対応できるように検討していく。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		子どもの状況に応じて、担当者会議への参画の調整を行っている。	担当指導員が参加できていない場合があるので、担当指導員が参加できるように調整していく。
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	必要に応じて、関係機関と情報共有や連携をおこなっている。	今後、必要に応じて、関係機関と連携をおこなっていく。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		該当者なし
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		該当者なし
	㉔	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、保育所や幼稚園への訪問および連携を行っている。	今後、本人の状況を親御さんと確認を取りながら、必要に応じて適当な者が訪問及び連携を行っていく。
	㉕	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、小学校や特別支援学校への訪問および連携を行っている。	今後、本人の状況を親御さんと確認を取りながら、必要に応じて適当な者が訪問及び連携を行っていく。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	必要に応じて連携を行っている。	今後、積極的に連携を行い、研修に参加できるように検討していく。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		現時点では交流の機会を設けられていないので、今後検討していく。
	㉘	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		感染予防の関係で参加できていないが、今後状況を見ながら参加していきたい。
	㉙	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		振り返りの時間で支援内容やご家庭での様子の情報共有を行い、共通理解を持つようになっている。	

保護者への説明責任等	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	○	○	振り返りの時間等で相談があった場合に、本人との関わりについて提案している。	感染予防の事もあり、行っていないが状況を見てイベント等の実施を検討する。
	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や利用状況の確認等で説明を行っている。	
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		アセスメントに基づき契約時やモニタリング後に作成した支援計画について説明し、同意を得ている。	
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		フィードバックの時間で聞き取りを行い、必要に応じて面談を設定している。	保護者からの悩み等があった場合に、職員間で共有・相談し、必要に応じて面談や助言を行っていく。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		感染予防の事もあり開催は難しいが、状況を見て、保護者のニーズに合わせて、ママカフェ等で連携をとれる場を設定していく。
	㉕	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			校舎内で対応窓口や方法が統一・周知されていないため、今後流れを統一していくよう検討する。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ、ライン、ちらし等を活用して行事予定を発信している。	
	㉗	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類やデータは鍵のかかるロッカーで管理し、外部への流出に気をつけている。	
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		子どもの特性に合わせて意思疎通や情報伝達をするようにしている。	
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		感染予防の事もあり、交流イベントは実施できていないが状況を見て検討していく。

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルの作成を行い、訓練を行っている。	保護者の周知ができていないため、周知方法を検討する。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		対応の内容の確認等毎月行っている。	今後は消防署や警察と連携して、より実践的な訓練を検討していく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントシート等を利用し、面談で確認を行っている。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメントシート等を利用し、面談で確認を行っている。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		今後、教室内での情報共有に基づき、事例集を作成していく。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		内部で虐待防止についての定例研修参加している。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		該当児について、事前に説明と確認を行ったうえで、支援計画に記載している。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」寝屋川校

保護者等数（児童数）：10名 回収数：9名 割合：90%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	0	0	バリアフリーなど環境面に配慮されており、心地よく過ごせる環境。 トイレを流す際のレバーをどちらに回せばよいかわからず不安。	トイレの流すレバーが子どもに分かりにくい。 絵などで分かりやすい表示にする。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	9				ニーズに合わせて対応していただけている。	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			1		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8			1	子供が好きなキャラクター等を取り入れて工夫してもらっている。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4		3	2		感染予防もあり、現時点では難しい。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	9					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8			1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1	1	2		これからの課題として検討していく。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	9					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	1				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		2	6		感染予防もあり、現時点では難しい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	1		1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8			1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2			6		これからはラインでの発信が可能になったので改善されると思われる。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	8			1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2	1	1	5		必要なマニュアルは説明して掲示しているが訓練等は行うのが難しい。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	1	5		感染予防のため、集団で行うことが難しい。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7	2				その日の気分で行き渋りがあるが通所したら楽しめている。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	9					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。